

【専門教育科目/看護の統合と発展】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
地域医療論	NSP43_002	必修	1	4	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
山崎 洋子	301	y.yamazaki	授業後、1時間		
授業の目的・概要	地域医療の目的と政策を理解し、山梨県及び東部・富士医療圏における地域医療の状況を考察したうえで、住民だれもが、いつでも、どこでも、最良の医療を受ける権利が保障されるような地域医療のありかたについて学習する。地域にある医療システムと医療機関、医療従事者が、その所属する地域でいかに活動すべきか考え、地域医療における問題点を検討する。さらに、山梨県と東部・富士医療圏の地域医療の課題に対する解決策を考える。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	我が国の医療供給体制を概観し、実習施設及び就職予定施設の地域における医療供給体制上の役割・機能を調べていくことを通して、地域医療における課題解決に果たす看護の役割や我が国の目指すべき地域医療の方向性を考えてほしい。				
教科書	厚生指針 増刊 国民衛生の動向 2020/2021 厚生労働統計協会				
参考書	地域医療は、おもしろい！-地域をいやす48の取材記： 北村聖編 ライフメディコム 2015 日本の医療と介護： 池上直己 日本経済出版社 2017 医療政策集中講義 医療を動かす戦略と実践：東京大学大学院医療政策教育・研究ユニット編 医学書院 2015				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	地域医療の概念が理解でき、説明できる			HSU(6)、NS(1)(4)	
②	我が国の医療供給体制を説明できる			HSU(3)、NS(2)	
③	地域包括ケアシステムの現状と課題を述べられる。			HSU(1)、NS(2)(3)	
④	富士東部地域がおかれた地域医療の現状を述べられる			HSU(3)(5)、NS(3)	
⑤	地域に生きる人々を支える医療・看護役割を記述できる			HSU(6)、NS(5)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	我が国の医療供給体制と地域医療	講義	実習施設あるいは、就職予定施設の病床数、診療科を調べておく。	3	
2	地域医療の歴史	講義	県内あるいは関心のある医療機関の歴史について調べておく。	4	
3	地域医療の現状と課題	講義	これまでの学習、実習等で気づいた医療・看護・介護の課題について列挙しておく。	4	
4	地域医療と地域包括ケアシステムの推進	講義	取り上げる医療圏域の地域包括ケア体制を調べる	4	
5	地域医療構想 (山梨県の事例)	講義・演習	県内の医療機関の機能役割について整理する。	4	
6	山梨県の在宅医療・看護と介護保険の課題	講義	県内の在宅診療医療機関・介護施設を調べる	4	
7	山梨県の地域医療への取り組み	演習	示された事例の特徴を整理する	4	
8	地域に生きる人々を支える地域医療・看護について (報告会)	演習・発表	前回の整理した取り組みについて報告する。	3	
試	レポート「地域医療の実際から学ぶ地域に生きる人々を支える医療・看護実践のあり方」について				

【専門教育科目/看護の統合と発展】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	70	30	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	30	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	20	0	0	30
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	10	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	講義内容、自己学習などを踏まえたレポートの作成とする。 レポートは、最終講義の後に提出日を設ける。				レポートにコメントを付けて返却する
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
成果発表	①		発表資料を準備し、役割分担して発表する。				報告会での質疑でフィードバックする。
	②						
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員							
教 員 の 実 務 経 験	保健師の実務経験約10年（保健所・市町村）、大学病院退院支援室兼務約10年						
実 践 的 授 業 の 内 容	担当教員は、地域医療や地域包括ケアシステムの課題や取り組みの方策を検討する会議に参加しており、地域の現状を踏まえながら授業を行う。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学で定めた感染対策を遵守すること。 ・ 感染症のまん延状況によって、内容に変更が生じる可能性がある。 ・ 授業の中で、PC、スマホでの検索を指示することがある。 ・ 授業中の私語、メールの送受信、途中退出は、認めない。退出を求めることもある。 						